

使用上のご注意

- 本器具は薬機法での【医療機器】ではありません。顔の表面温度を検知して、体温が高い可能性のある人物を発見するための装置であり、体温を測定して対象者が疾病に罹患しているかどうかを診断する機械ではありません。体温が高い可能性のある人物を検知した場合は、必要に応じて、体温計での体温測定や医師による診断を行ってください。
- 本器具は医薬品・医薬部外品ではありません。実際の温度と多少の誤差が生じる場合がありますので、取引または証明用として使用することはできません。
- 本器具は精密機器ですので、丁寧に扱ってください。落としたり、強い衝撃を与えた場合、破損・故障の原因となります。
- 器具の近くでリモコン（コントローラ）を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 暑い場所から寒い場所、また寒い場所から暑い場所への急な移動はお避けください。急激な温度変化により内部に水滴がつき、故障の原因となります。
- 屋外、直射日光のあたる場所での使用はお避けください。正しく検温ができないことがあります。
- 本器具を使用して、太陽やレーザー光などの測定を行わないでください。赤外線温度センサーを破損するおそれがあります。
- 赤外線温度センサーに直接、冷暖房等の風や外気の風が当たらない場所に設置してください。
- 本器具に電源スイッチはありません。ACアダプターを接続するとタブレットが起動します。
- 電源投入後は、しばらくは測定値が安定せずに高温測定になったり、測定レンジを超えてしまい温度測定異常となる場合がありますが、異常ではありません。30分以上経過すると安定しますので、ご使用は30分以上経過してからご使用ください。
- 動作に異常があった際は、ACアダプターの抜き差しを行ってください。
- タブレットのケーブル上にあるLAN、緑色のコネクタ、リセットスイッチは器具の保守用ですのでご使用できません。
- 音量と高温判定温度値は出荷時の設定から変更することはできません。

お手入れについて

- お手入れの際は必ずACアダプターを抜いてから行ってください。
- 器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布で拭きとるか、水で浸したやわらかい布をよく絞ってから拭いてください。赤外線温度センサー（温度測定部）にゴミ、汚れが付着していると、正しく検温できないことがあります。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因になります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください。

現象	考えられる原因	処置
何も表示されていない	<ul style="list-style-type: none"> ●ACアダプターがコンセントに差し込まれていない ●ACアダプターのプラグとタブレットの12Vケーブルが繋がっていない ●ACアダプターのプラグが支柱のアダプター差し込み口に差し込まれていない 	<ul style="list-style-type: none"> ●ACアダプターをコンセントに確実に差し込む ●ACアダプターのプラグと12Vケーブルを確実に差し込む ●ACアダプターのプラグをアダプター差し込み口に確実に差し込む
正常に動作しない	電源投入後、温度測定が安定するまでの時間を待たず操作している	電源投入後、30分以上時間をおいてから操作する

上記の点検でなお異常のある場合は、必ずACアダプターを抜いて電源を切り、弊社「お問い合わせ窓口」にご相談ください。

- アフターサービスについて
ご不明な点は弊社「お問い合わせ窓口」にご相談ください。

お問い合わせ窓口

- 商品のご購入に関してのお問い合わせ

TEL 03-5786-0745 平日10:00～17:00（土日祝日除く）
商品のご購入 <https://motom-ec.com>
お問い合わせ E-mail: sale@olympia-jp.co.jp



- その他・操作・仕様などに関するお問い合わせ

TEL 0256-92-7070 平日10:00～17:00（土日祝日除く）
FAX 0256-92-3312

オリンピア照明株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山4丁目1番15号アルテカバルテプラザ2F

Motom 非接触型温度センサータブレット 取扱説明書 保管用

形名：GHA002（卓上タイプ）
GHA003（床置きタイプ）

このたびは Motom（モトム）非接触型温度センサータブレットをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

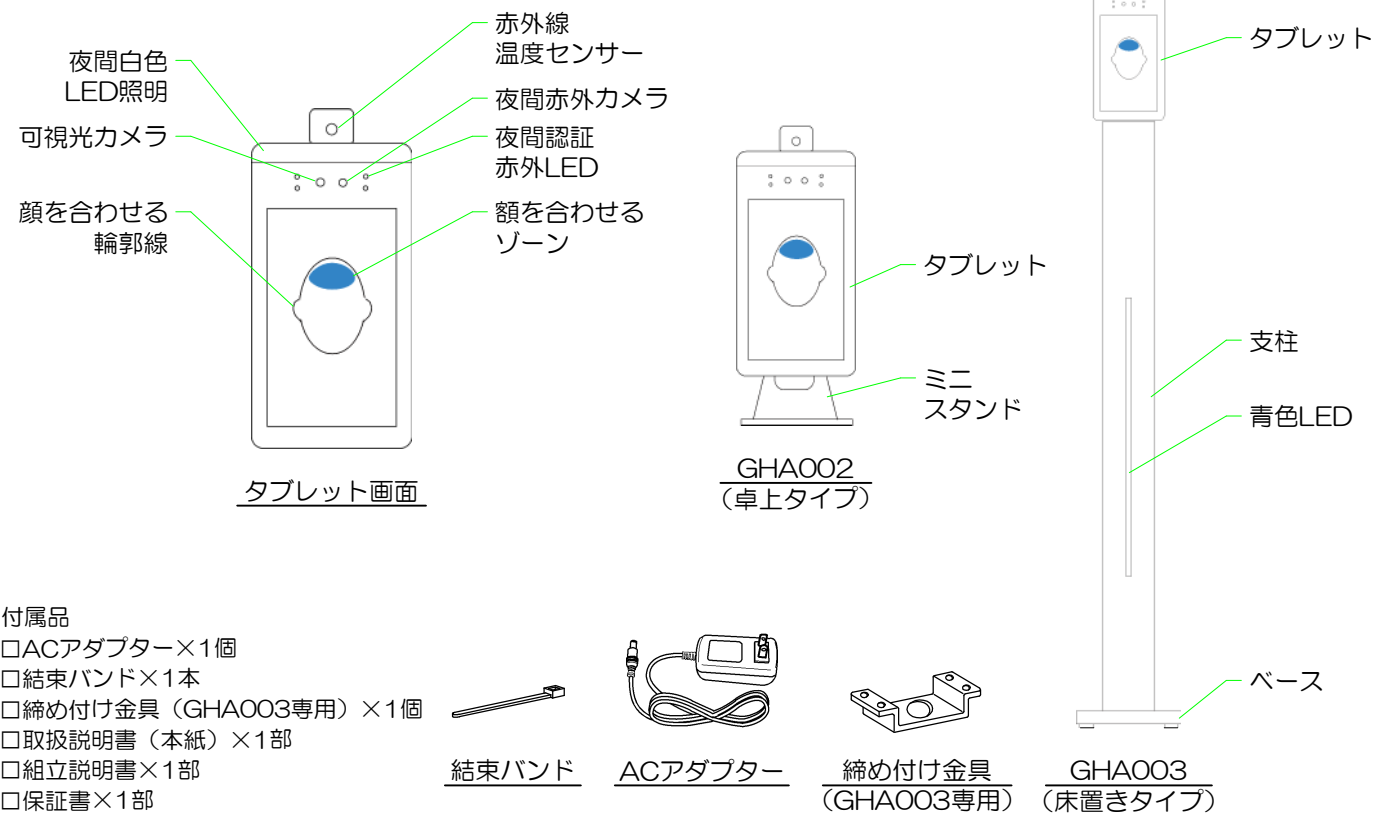
安全上のご注意

必ずお守りください。人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。	
▲ 警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	▲ 注意「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（下記は図記号の一例です。）	
⊘ してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。
▲ 警告	<ul style="list-style-type: none"> ●交流100ボルトで使用してください。過電圧を加えると、火災・感電のおそれがあります。 ●異常を感じた時は速やかに電源を切ってください。異常状態が収まったことを確認し、弊社「お問い合わせ窓口」にご相談ください。 ●ACアダプターの差し込み口のほこり等は定期的にとってください。プラグにほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災のおそれがあります。 ●ACアダプターの差し込み口は根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災のおそれがあります。 ●ACアダプターを抜く時は、アダプター部を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが破損し、火災・感電のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●この器具は屋内専用です。軒下及び湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。絶縁不良、感電の原因となります。 ●コードを破損するようなことはしないでください。傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災のおそれがあります。 ●この器具は激しい振動・衝撃の加わる可能性のある場所、常時振動のある場所には使用できません。絶縁不良、器具落下の原因となります。 ●暖房器具、ガス器具等の真上付近の温度の高い場所では使用しないでください。動作不良、火災、感電の原因となります。（この器具は5～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。） ●不安定な場所や、燃えやすいものの近くで使用しないでください。倒れたり落ちたりして、火災のおそれがあります。 ●ぬれた手で器具に触らないでください。感電のおそれがあります。 ●器具のすき間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。火災、感電のおそれがあります。 ●器具を分解・改造したり、部品交換をしないでください。火災、感電によるけがのおそれがあります。
▲ 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●器具には寿命があります。外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。※周囲温度5～35℃でご使用ください。※周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。定期的な点検をおすすめします。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電などに至る場合があります。 ●お手入れの際は、電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となることがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●器具にもたれたり物をぶつけたりしないでください。器具破損の原因となります。 ●静電気や電磁波を発生している場所（IH調理器や電子レンジ、通信機器などの近く）で使用しないでください。誤動作や故障のおそれがあります。

各部名称

説明図は一部を省略した図です。
お手元の製品と図では異なる部分があります。



仕様

※消費電力は器具によって異なる場合がありますが異常ではありません。
※器具の仕様は予告なく変更することがあります。

型名	形式	サイズ (cm)	重量 (kg)	消費電力 (W)	定格電源電圧 (V)
GHA002 (HC-SJP08CW-Z)	卓上タイプ	縦28.7×横13.5×奥行9.0	1.5	7.0	AC100
GHA003 (HC-SJP08CW-B + HC-ZJ04)	床置きタイプ	縦138.6×横29.3×奥行25.0	7.6	12.0	
電源周波数 (Hz)	測定誤差 (°C)	測定レンジ (°C)	測定時間 (秒)	測定距離 (cm)	高温判定温度設定値 (°C)
50/60	±0.3	35.8~48.7	2.0	30~60	37.3 (温度の設定変更はできません。)

動作について

本器具はソニー製CMOS イメージセンサーを使用した高性能可視光カメラで顔を認証し、適正な位置に誘導させて赤外線温度センサーで非接触での検温動作をおこないます。

周囲の環境に影響されることなく、安定した検温ができるように以下の機能が搭載されています。

●夜間白色LED照明の動作

周囲が暗く (周囲照度: 約4ルクス) になると自動的に夜間白色LED照明が点灯し、顔認証の補助をします。また、明るく (周囲照度: 約7ルクス) になると自動的に消灯します。

●夜間認証赤外LEDの点灯と夜間赤外カメラの動作

顔を認識すると夜間認証赤外LEDが点灯し、その状態を可視光カメラの他に夜間赤外カメラでも確認しますので、周囲が暗くなったときに、効果的な顔認証の補助をします。

組み立て方について

※器具組立の際は必ず電源を切ってください。

- 器具の組み立て方については、別紙「非接触型温度センサータブレット 組立説明書」を参照してください。

使用方法

本器具の電源の入り切りは、ACアダプターをコンセントに差し込むとON、コンセントから抜くとOFFになります。

1.ACアダプターのプラグがタブレットケーブルの12Vケーブルまたは支柱のアダプター差し込み口に接続されていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2.タブレットの前面に近づいてください。自分の顔が顔を合わせる輪郭線内に納まるようにタブレットとの立ち位置・距離・高さを調整します。測定距離は30cm~60cmです。

3.画面の顔を合わせる輪郭線の上部にある額を合わせるゾーンに額を合わせてください。(図1) 距離が離れている場合は「近づいてください。」のアナウンスと表示が出ますので、立ち位置・距離・高さを合わせ直してください。 ※マスクを着用していないと「マスクをしてください。」とアナウンスされますが、マスクを着用していない状態でも体温は測定可能です。

4.タブレット上部の赤外線温度センサーが体温の測定を開始し、画面に「温度測定中」と表示されます。(図2) その後、約2秒で結果が表示されます。この間は顔の位置を動かさないようにしてください。 体温が正常の場合は、「体温は正常です。」のアナウンスと測定値を青色で表示します。(図3) 体温が高温の場合は、「体温は高温です。確認してください。」のアナウンスと測定値を赤色で表示します。(図4) 高温判定温度設定値は37.3°Cで設定されています。

※温度測定レンジ35.8°C~48.7°Cの範囲外になったときは「温度測定異常」のアナウンスと表示がでますので、タブレットから顔を離して、測定をやり直してください。

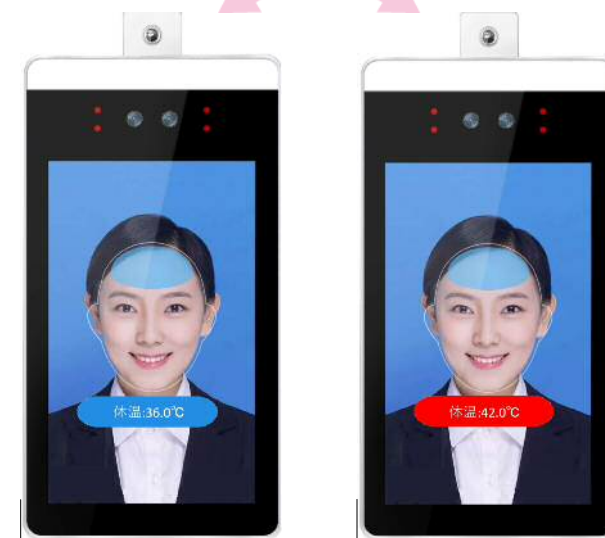
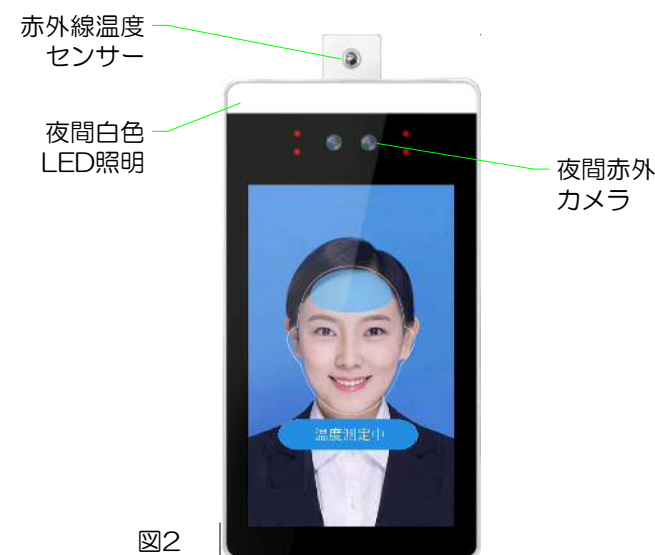
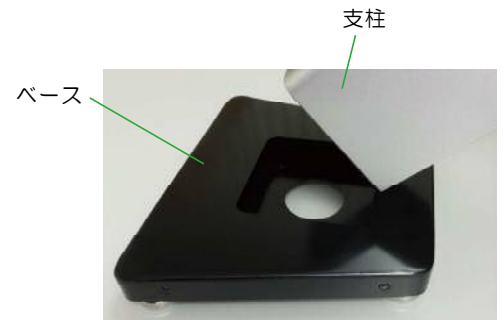
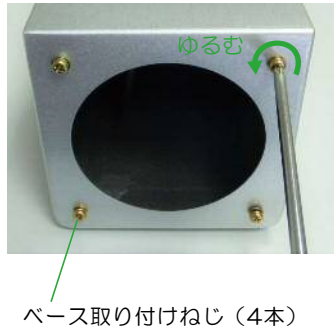


図3 (正常の場合)

図4 (高温の場合)

GHA003（床置きタイプ）組み立て方法

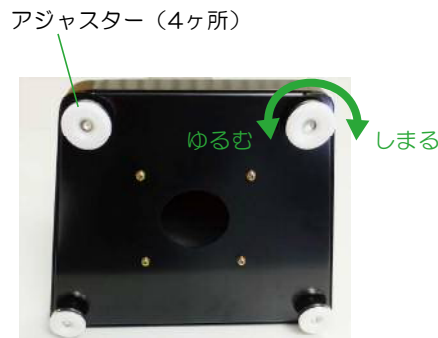
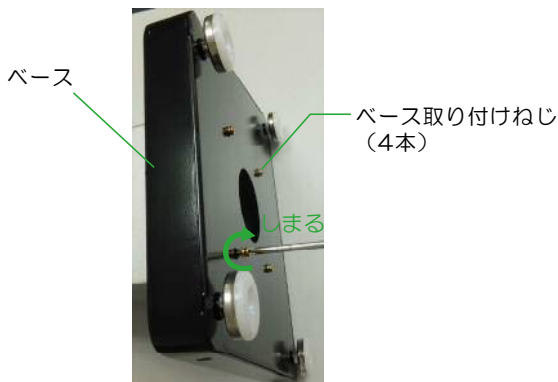
※組み立ての際は手袋をご使用ください。
 〈組み立てに必要な道具〉手袋、プラスドライバー



- 1** 支柱、ベース、タブレット、締め付け金具、ACアダプター、結束バンドを箱から取り出してください。
 ※タブレット画面の保護フィルムは、組み立てた後に剥がしてください。

- 2** 支柱の裏面に取り付けられている、ベース取り付け用ねじ（4本）を取り外してください。
 ※取り外したねじはなくさないようにご注意ください。

- 3** ベースの穴の形状に合わせて支柱をはめ込んでください。



- 4** ベースの裏面から 2 で取り外したベース取り付け用ねじ（4本）で支柱を取り付けてください。

- 5** 支柱を立て、がたついている場合は、ベース裏面のアジャスター（4ヶ所）を回して調整してください。



- 6** 支柱の背面のふたを固定している取り付けねじ（4本）を取り外し、ふたをあけてケーブルを取り出してください。
 ※取り外したねじはなくさないようにご注意ください。
 ※支柱のふたが落下しないように注意してください。

- 7** タブレットケーブルを支柱の表面から穴に通してください。

- 8** タブレットの取り付けねじ部を支柱の穴に通してください。
 この間、タブレットが落下しないように手でしっかりと支えてください。



締め付け金具



しめる

9 タブレットケーブルに締め付け金具を通してください。

10 締め付け金具を右に回し、タブレットの取り付けねじ部に確実に締め付け固定してください。

ねじ締めリング



しめる



12Vケーブル



LANケーブル

11 タブレットの角度を調整後、タブレット側のねじ締めリングで固定してください。ねじ締めリングはタブレットが自重で下らない程度に締め付けてください。ねじ締めリングを過剰に締め付けると、ねじ締めリングが動かせなくなる場合がありますのでご注意ください。

12 支柱のケーブルとタブレットケーブルの12Vケーブル、LANケーブルを確実に差し込み接続してください。
※緑色のコネクタとリセットスイッチには何も接続しないでください。



取り付けねじ（4本）



支柱ふた

しめる



13 引き出したケーブルをすべて支柱の中へ戻してください。
※ケーブルをまとめたい場合は、付属の結束バンドを使用してください。

14 支柱のふたを回で取り外した取り付けねじ（4本）で確実に締め付け固定してください。

15 支柱のアダプター差し込み口にACアダプターのプラグを確実に差し込み接続してください。



オリンピア照明株式会社「MotoMお問い合わせ窓口」

〒107-0062 東京都港区南青山4-1-15 アルテカベルテプラザ 2F TEL.03-5786-0744（土・日・祝日を除く 10:00~17:00）

WEB: www.motom-jp.com e-mail: sale@olympia-jp.co.jp

